# 山のある風景

熊本方面からのルートで国道五十七号線の赤水からゆるやかに高度を上げて国立牧場の緑を縫い、米塚の裾をめぐって坊中からの登山道路に合流する。春の野焼き、夏の赤牛の放牧、秋の刈干しなどに代表される四季の移り変りと、朝夕に変化する阿蘇五岳の眺めは格別である。右がいまなお活動を続ける中岳。

## 赤水からの阿蘇山

画（墨淡彩）
17分会　姉川良男

# 姿見

## 『白い町ヒロシマ』

東ブロック　平川弘子

『白い町ヒロシマ』の試写会へ出席する機会を得ました。会場の〝明治生命ホール〟には、教師をはじめ多くの母親がみえていて、原作者の木村靖子さんもあいさつされました。

学童疎開中に広島の原爆で母と姉、弟を失った主婦木村さんの原作『白い町ヒロシマ』が映画化されたものです。

父の転勤を機に一九四五年二月、みぞれの降る博多の町から広島の町へ引っ越します。「あっ、白い町広島だ」広島は珍らしく雪で一面の銀世界。家族がしあわせに暮らしていたときの〝白い町ヒロシマ〟と、最後に灰じんと化した瓦礫の町〝白い町ヒロシマ〟の対照が強く印象に残りました。

その時（昭和二十年）、国民学校（当時は小学校をそう呼んでいた）四年生だった木村さんの被爆体験（疎開先のお寺での生活、母恋しさと空腹、突如東の空近くに見た巨大なきのこ雲におびえる子供たちと、この子供らをどう諭し導びくか苦悩する教師像）が、かたひじはらずに、教師と生徒、親と子の情感あふれるものとなり、平和を願う木村さんの心がジーンと伝わってくる思いで、涙が止まらず目頭から手を離すことができませんでした。

同時代を生きてきた一人として、戦争の悲惨さを知る一人ひとりが戦後育ちの〝戦争を知らない世代〟へ語りつぐ責任を問いかけられた思いです。

ヒロシマ宣言に「人間の能力の中で最も弱いのは想像力であり、最も強いのは忘却力であるという。われわれは決してヒロシマを忘れないし、戦争の廃絶された世界を構想する能力を失わない決意である」……と。

ヒロシマ宣言の決意を自分の心に刻み、平和行動としての八の日の運動を積み上げていきたいと思っています。

# ちょっとおかしい舶来品購入キャンペーン

## 貿易摩擦と暮らし

「国民一人が年間百ドル、外国製品を買えば、外国が喜び、貿易摩擦が緩和される」と、中曽根首相自ら〝舶来品購入キャンペーン〟を提唱しました。貿易摩擦もくるところまできたものです。

とはいえ、国民の舶来品へのあこがれ、ブランド志向が薄くなり、実質本位の商品選びが強まっているときに、四人世帯で四百ドル、約十万円も新たに外国製品を買うでしょうか。通産省が今年二月に行った「くらしと輸入製品について」の国政モニター調査では、八十七%のモニターがすでに輸入製品を「使っている」と答えています。

使われている中でもっとも多いのは食料品、被服品、携帯用品など。「色・柄・デザインがよい」「使って満足感がある」などが使うメリット。しかし、「値段が高い」「アフターサービスが不十分」と、デメリットも指摘されています。

一部のゼイタク品の輸入増を国民に呼びかけるよりも、過度に輸出に依存する経済運営から内需主導の経済成長へ転換することこそ抜本解決の道ですが、春闘の賃上げも五%前後、所得減税はなく、福祉の後退で教育費や医療費の負担が増すばかりでは、内需は冷えこむばかり。

ボン先進国首脳会議（五月二～四日）を控えて、さて中曽根さん、どうします？

ロンとヤスは出っ腹仲間昨年の秋、ヤスは自民党総裁、ロンは大統領として再選されたがこの後の任期はない。さて？

## ミニ解説

### サミット

英語で「頂上」の意味。主要先進国の首相、大統領によるトップ会議で、米、英、日、独、仏、伊、カナダ、の七カ国が参加して一九七五年から毎年一回ずつ開かれています。世界経済危機の中で、先進諸国が結束して政策の調整を行い、失業やインフレ、貿易摩擦、南北問題などの解決をめざす会議とされてきましたが、一九八一年のレーガン米政権誕生以来、政治色、軍事色を強め、今回のボン・サミット（五月二～四日）では米国の宇宙兵器研究開発（SDI）支持も議題にのぼっています。

### 個人消費

国内需要の半分を占める民間最終消費支出のこと。衣食住など国民の家計支出の総額です。

一九八四年の全世帯家計消費支出は前年に比べ名目二・二%増、実質でわずか〇・三%増と景気拡大の中でも伸び悩んでいます。今年の春闘で五%賃上げになっても経企庁の試算によると、標準家計で実質可処分所得の伸びは一%。個人消費の低迷は続きそうです。

## 百ドル・セール

買ってくれなきゃ、ロンさん怒り、ヤス請け合いの私は困る。……だれだ「そんなに買ったら、家計マサツがひどくなる」なんていってるのは……

（ヒジテツ）

## 5月のことば

〇…さつき。一日はメーデー、三日憲法記念日。五日こどもの日は立夏で、日曜日と重なる。ゴールデン・ウイークの大型連休法制化はなるか。十日から愛鳥週間。十二日が母の日です。二十日から月末までは家内労働旬間。三十日は消費者保護基本法制定（一九六八年）を記念する消費の日。

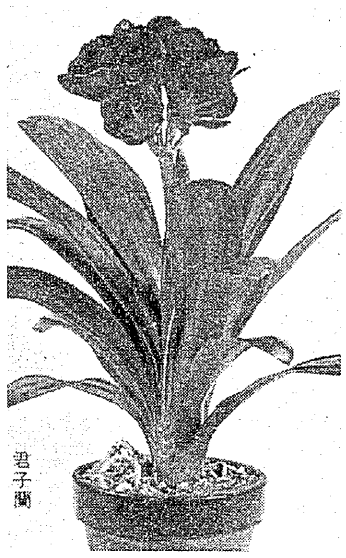
〇…残念ながら、ゴールデン・ウイークの天気は多少ぐずつく模様です。五月は日本の南の太平洋高気圧が強まり、北の寒気団と押しくらまんじゅう。そのため寒暖の変動が大きく、北日本では晩霜もありそうです。日本の南岸に前線がはりつき、太平洋側はぐずつくとのこと。

梅雨にはまだ間がありますが。

〇…初夏の味覚の一つはイカです。新鮮なものは、コゲ茶色でツヤがよく、肌がピンとはっています。指先で肌をこするとその跡の色がすぐ元にもどり、足の内側の吸盤にふれると吸いついてきます。古いものは、胴まわりが平べったく、色が白っぽくなります。暗い赤褐色のものはもっと古いものです。

# 五月の園芸

十三分会　田上勇


君子蘭

### 松のみどり摘み

松のみどり摘みの時期です。小枝の伸び過ぎを防ぐとともに葉先を揃えるのに大切な作業で、みどりと呼ばれる新しい芽を周囲のバランスを考え、二分の一ないし三分の一ぐらいを指先で摘みとります。なお、葉を短くする短葉法の場合は、このみどり摘みはせず、六月中旬以降の芽摘みをします。錦松も、黒松同様みどり摘み、短葉法ともに同じ方法でします。

### カンノンチクの植え替え

カンノンチク、シュロチクはヤシ科の植物で親棕竹と呼びます。あまり病気にはかかりません。中旬から六月初めまでに植え替えます。山砂だけの植え込みや、山砂に鹿沼土を三割ぐらい混ぜ合わせたものを使います。

鉢から抜き取り、古土をほぐし、よく水洗いして植え込みます。根が病気気味だったり、痛んでいるときはダイセン水和剤の千倍液に三十分ぐらいつけてから植え込みます。

植え替える盆樹は、すべて二～三日水を与えず、用土もさらさらに乾いた方が、根をほぐしたり、植え替えるときに根に十分用土が入り込みます。植え替えたものは十分水を与え、しばらくは午前中日光に当て培養します。風にも当てないように。根の活着がよくありません。

### クンシランの植え替え

鉢から抜いたものを、根を痛めないように底の方から丁寧にほぐします。用土はほとんどおちると思いますが、内側の根はボロボロになっていたり、皮だけになっています。丈夫な根もバランスよく四分の一ぐらいまで整理します。同時に枯れかけた葉も取り除きます。

用土は田の土がよく米つぶぐらいの大きさのものに腐葉土を二対一の割りで植え込みます。根の間に十分土を入れ込むことが大切で、割り箸などを使ってつつきながら植え込みます。

### ビラカンサ

もともと丈夫な木で、実付きもよいものです。白い花を一ぱい付けて見事なものです。それだけに肥料も必要とします。四月から九月までは月に二回ぐらい与えます。ただし雨の多い時期や真夏はひかえた方がよいでしょう。なお、消毒は忘れないようにしましょう。